

効果報告レポート

【事業者名】

スタディプラス株式会社

【ツール名】

Studyplus for School

公立高校・私立小中高校版

【ツールの機能分類】

学習支援・授業支援 (LMS)



Studyplus for School

2023年2月

生徒と先生を学習記録アプリ「Studyplus」でつなぎ、生徒の日々の学習ログを先生が見守り助ける、教育機関向け学習管理プラットフォームです。

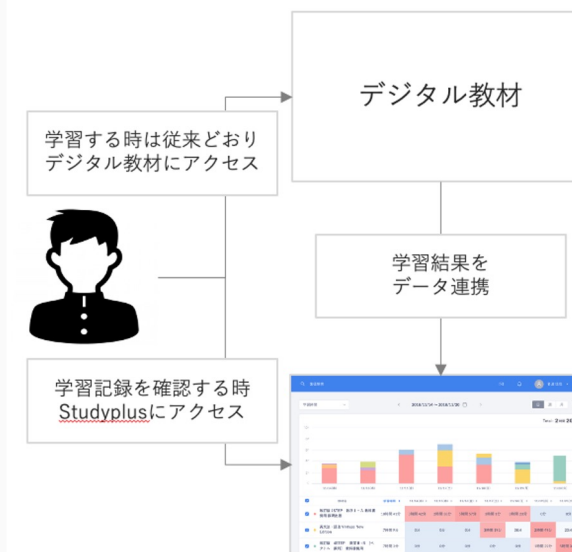
①科目単位ではなく多種多様な教材単位の学習記録

「英語」「数学」など科目単位だけでなく、教科書・参考書はもちろん、あらゆる市販教材、独自教材まで網羅的に記録ができます



②デジタル教材の学習記録の自動連携

現在17教材のデジタル教材とシステム連携し、他社のデジタル教材で学習すると自動で弊社システムに学習記録が同期。文部科学省CBTシステム「MEXCBT」と接続する学習eポータル。



活用場面とツール活用による効果

活用シーン	Before	After
日常の自学自習支援	<ul style="list-style-type: none">● 紙の学習記録の回収・確認・返却の負担● 一人一人へのフィードバックが大変● 生徒の学習状況の変化が分からない	<ul style="list-style-type: none">● 好きなタイミングで気軽に学習状況を見ることができる● いいね・コメントで手軽にフィードバックできる● 生徒の変化に気づき、迅速な声かけやフォローができる
面談	<ul style="list-style-type: none">● 面談に必要な材料の準備が大変● 面談時の学習状況のヒアリングに時間がかかる● 学習状況が不明瞭で的確なアドバイスが難しい● 面談内容を他の先生と共有できない	<ul style="list-style-type: none">● 事前に学習状況を把握でき、面談準備の負担が減る● ヒアリングが不要になり、フォローや相談に時間を割ける● 学習状況をもとに個々にあったアドバイスができる● 面談の記録をログに残し、先生間で共有できる
定期試験や模擬試験後	<ul style="list-style-type: none">● 学習状況が分からず試験結果の分析が難しい● 改善策も曖昧になってしまう	<ul style="list-style-type: none">● 学習記録をもとに試験結果の具体的な分析ができる● 振り返りをもとに具体的な改善案を提示できる
利用料	生徒1名あたり月額300円（税抜）、初期導入費・固定費用 無料	

教員全体が業務過多で、一人ひとりの生徒の状況に合わせた指導ができない

生徒指導の課題	要因	Studyplus for Schoolでの解決
生徒一人ひとりの学習状況を把握できない	手段の制約	① 収集の工数削減
	生徒は多様な教材で学習するため、網羅的な収集方法は紙しか存在しない。紙の回収・コメント・返却に膨大な時間を割かれてしまう。	② 分析の工数削減
	これまでのICTツールでは、教科単位での学習記録データしか取得できず、生徒の状況を分析しにくい。	③ 指導の効率化
指導の場所時間の制約	対面の指導が主のため、生徒一人ひとりに合った指導や、コミュニケーションをする時間的な余裕がない。	

①収集の工数削減：生徒一人ひとりのあらゆる教材における学習状況を手間なく収集

教材登録

生徒は教科書・参考書・独自教材まであらゆる教材を登録。



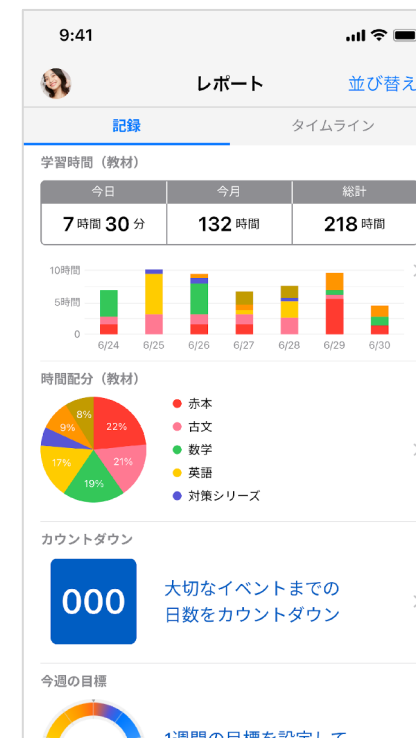
学習記録

勉強しながら、ストップウォッチで学習記録。



記録の可視化

日・週・月単位でカテゴリ（教科）ごとの学習記録を自動でグラフ化。



②分析の工数削減：クラス全体の生徒様子を一目で把握、生徒の変化に応じて声かけ

アナリティクス機能

すべての生徒の学習時間を集計。数値が最も多い生徒をレッド、数値が最も少ない生徒をブルーで表示。生徒のモチベーションの変化に応じて生徒に声かけを実施。

名前	学習時間	11/14(水)	11/15(木)	11/16(金)	11/17(土)	11/18(日)	11/19(月)	11/20(火)
1 森下 洋介 (高校3年)	56時間 7分	11時間 25分	9時間 11分	7時間 32分	3時間 45分	11時間 3分	4時間 20分	8時間 51分
2 瀧島 朝香 (高校3年)	53時間 16分	7時間 3分	5時間 58分	7時間 17分	6時間 16分	11時間 16分	8時間 48分	6時間 38分
3 推名 未来 (高校2年)	48時間 57分	5時間 0分	5時間 57分	4時間 45分	5時間 21分	11時間 1分	9時間 56分	6時間 57分
4 岡本 優 (高校3年)	40時間 55分	4時間 50分	5時間 30分	6時間 40分	3時間 35分	7時間 30分	6時間 50分	6時間 0分
5 杉田 景子 (高校3年)	38時間 10分	0分	5時間 58分	8時間 43分	5時間 37分	10時間 36分	1時間 2分	6時間 14分

②分析の工数削減：個別相談時にも、すぐに生徒の現状を把握した上で指導を実施

アナリティクス機能

生徒一人ひとりの教材ごとの学習時間を集計。日常の休み時間や面談のなかで、画面を見ながら生徒に合わせた指導を実施。



③指導の効率化：業務の隙間時間で、いいねやコメントでフィードバックを実施

タイムライン機能

先生は自身のクラスの生徒の学習記録を時系列順で閲覧。学習教材・学習時間・学習時刻・振り返りのコメントから、学習の進捗・生徒の理解度や生活習慣を把握。**業務の隙間時間に、先生は一つひとつの学習記録にいいねやコメントを送信。**

The screenshot displays the EdTech platform's timeline interface. At the top, there is a search bar labeled '生徒検索' (Student Search) and a navigation bar with icons for notifications (4), messages (5), and a profile (7). The main content area shows a list of learning records for a student named 森下 洋介 (Morikawa Hiroki), with a total time of 2 hours and 20 minutes. The first record is for '英単語ターゲット1900 5訂版 (大学JUKEN新書)' (English Vocabulary Target 1900 5th Edition (University JUKEN New Book)), dated 2018/10/24 19:36. It shows a duration of 1 hour and 20 minutes and 5 pages (pages 5-10). Below the record, there are interaction options: 'コメント' (Comment), 'いいね!' (Like!), and '質問ありますか?' (Do you have any questions?). The second record is for '日本史B一問一答一完全版 (東進ブックスー大学受験高速マスターシリーズ)' (Japanese History B One Question One Answer One Complete Edition (Tohoku Books - University Entrance High-Speed Master Series)), dated 2018/10/24 19:36, with a duration of 20 minutes. The interface also includes a sidebar with navigation icons and a top navigation bar with 'サマリー' (Summary) and 'リアルタイム' (Real-time) tabs.

活用の詳細

先生の日常的な活用の流れ

- ホームルーム：生徒が学習記録、振り返りを記載する時間を設ける
- 業務の隙間時間：生徒の学習記録を確認、いいねやコメントでフィードバック
- 面談時：個人アナリティクス画面をもとに指導、指導記録はカルテに記録

学校ごとに必要なシーンで活用

- 月1学年会議：当社から提供するレポートをもとに振り返り実施
- 定期試験前：学校で学習習慣強化期間としてイベントを企画
- 定期試験後：定期試験結果と日々の学習記録の相関分析

▼学年会議で活用いただいた月次活用状況レポート



▼学習習慣強化月間時の掲示物

Studyplus for School
学習習慣強化期間
期間：11月21日～12月4日

1. 学習した時間をスタディプラスで記録する。
ストップウォッチ機能で記録するのが手間なくオススメです！
2. 学校の授業以外の時間すべてをカウントする。
塾やスタサポなどの時間もカウントしましょう！

※検査期間終了後には、期間中のデータを集計した個人用振り返りシートをご提供します。

一日の目標時間は？

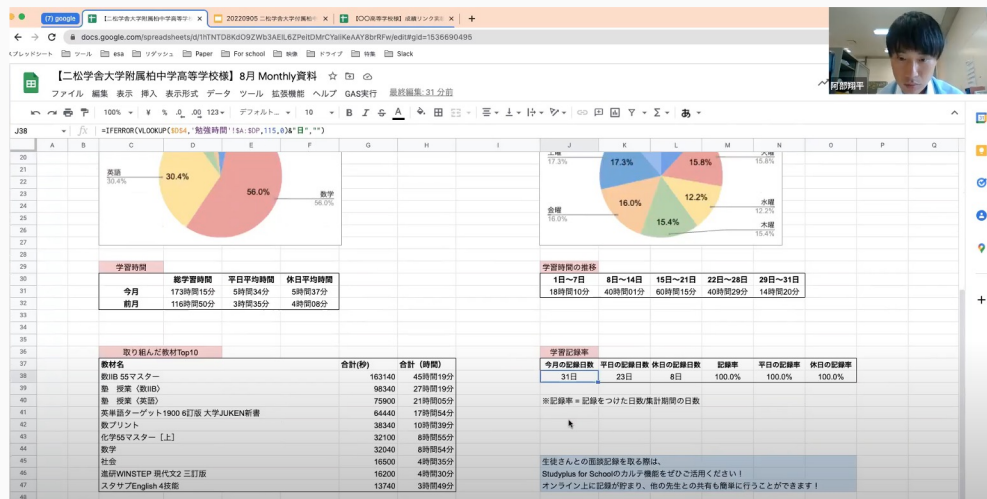
- 30分～1時間
- 1時間～2時間
- 2時間以上

実証事業に参加いただいた事例

二松学舎大学附属柏中学校・高等学校（千葉県）

参画背景 学校全体で生徒が自身の学習の振り返りができる状態を作ること

取り組み 生徒がStudyplusで学習記録をつけて、振り返りを行い、その内容をメッセージ機能で教員に共有する運用を行った。定期考査の学習に関する分析資料で、生徒が結果とプロセスの両面で振り返ることができた。

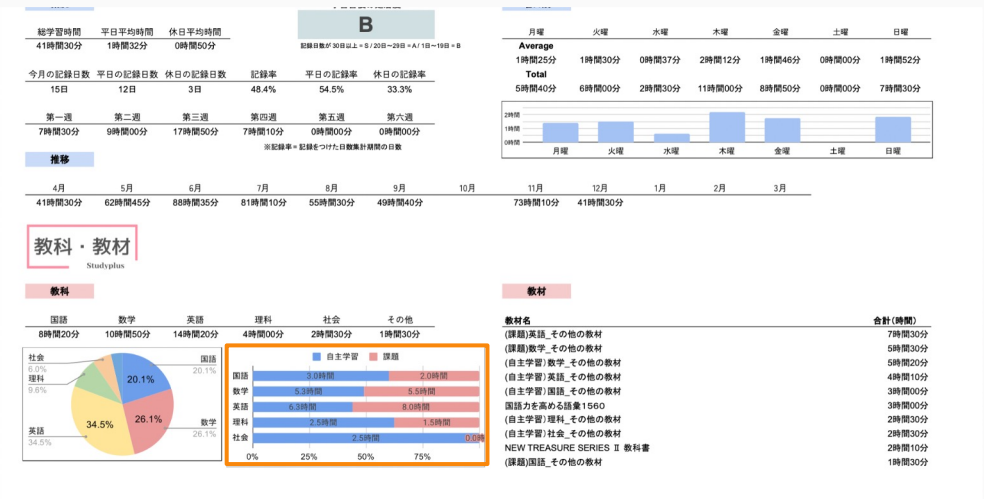


▲生徒個人別の学習記録分析資料をもとに、導入担当の先生と打ち合わせしている様子

岩田学園中学校・高等学校（大分県）

参画背景 これまでも学習記録を収集していたが、データの分析と活用に課題を感じており、Studyplus for Schoolを導入した。

取り組み 生徒が学習の記録をつける際に「自主的な学習」に取り組んだのか、「学校から課された課題」に取り組んだのかを区別して記録する運用を行った。生徒の学習状況を踏まえて、課題量の最適化を試みた。



▲生徒の学習記録に対して、自学自習と課題の割合を示した学習記録分析資料

各学校専任のサポート担当を設置し、導入・活用計画を学校ごとにカスタマイズ、活用支援を実施

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校の動き	1学期 中間試験	1学期 期末試験	夏季休暇			2学期 中間試験		2学期 期末試験	冬季休暇		学期末 試験
目指す生徒の状態	導入準備 活用方法を知る	学習の記録を 継続できる			学習の記録を 継続できる			学習の記録を 継続できる		自分なりの学習方法 を確立できる	
スタディプラス担当者 によるサポート	初期登録作業 ガイダンス	活用レポート提供※1・月に一度の活用振り返りミーティング 他校事例紹介・レポートをふまえた活用提案								次年度に向けた 活用方法検討・提案	
	電話・メール・チャットによる問い合わせ対応（平日9:00-18:00）										
生徒の活用	ガイダンス	「記録する」・「スケジュール」・「レポート」機能の活用・学習記録の継続									
		面談で 振り返り	S-1グラン プリ※2	面談で 振り返り				S-1グラン プリ	面談で 振り返り	S-1グラン プリ	
先生の活用	ガイダンス	記録づけの声かけ・タイムラインでいいねやコメントを送る・定期試験前の学習時間ランキング揭示									
		アナリティクスを 元に面談				アナリティクスを 元に面談			アナリティクスを 元に面談		

※1 活用レポート：月に1回ペースで活用状況のレポート・学習時間ランキングを提供いたします。

※2 S-1グランプリ：Studyplus導入校(予備校・塾含む)の生徒で学習時間を競い合うイベントです。

導入実績一覧

教育機関	コース	学年	クラス数	生徒数
二松学舎大学附属柏中学校	グローバル探究コース 総合探究コース	3年	3クラス	95名
二松学舎大学附属柏高等学校	スーパー特進選抜コース 特進選抜コース 進学コース	1,2,3年	31クラス	1,073名
岩田中学校	IWATAコース	1,2,3年	8クラス	197名
岩田高等学校	IWATAコース APUコース	1,2,3年	12クラス	286名

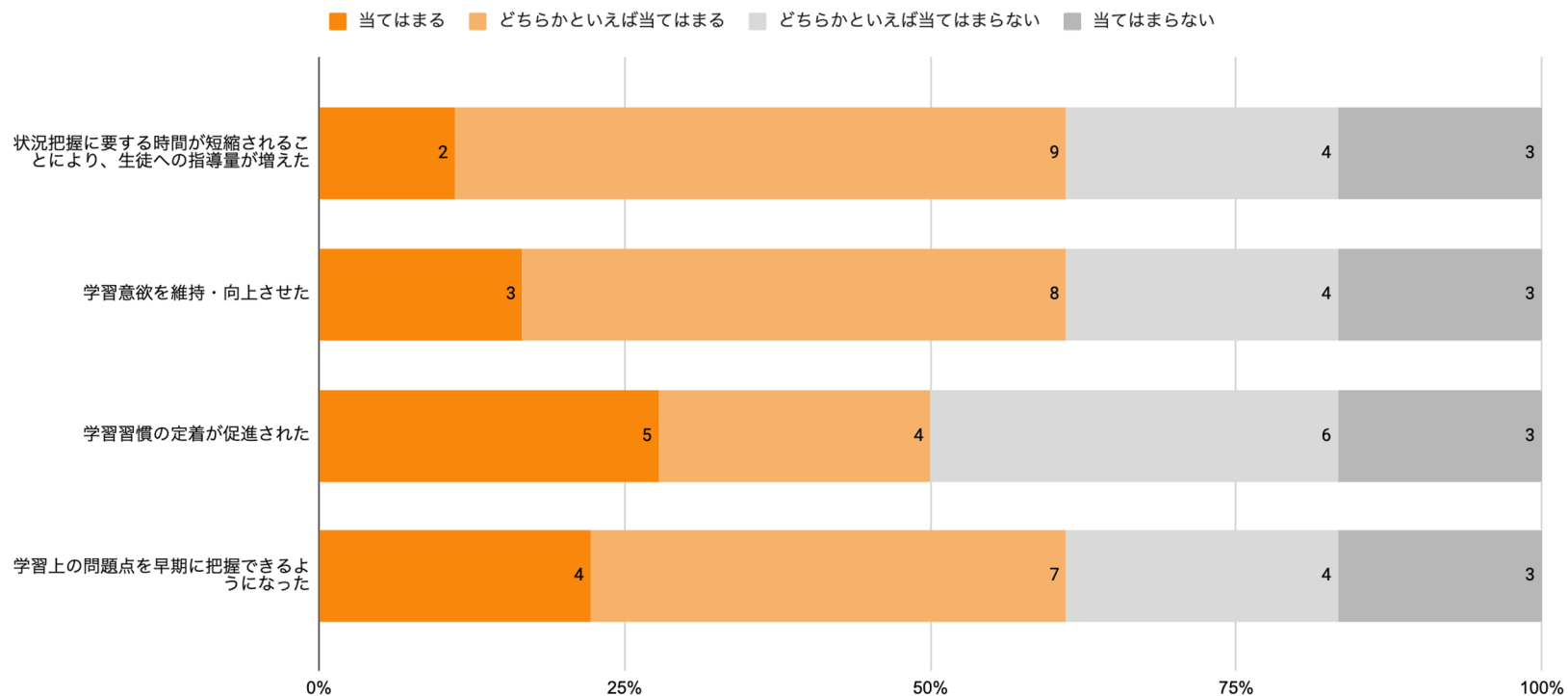
活用効果サマリ

- 導入により、生徒の**学習状況の把握に要する時間が減り、生徒へ指導する時間が増えた**と先生が実感。
- 先生から、生徒の**学習習慣の促進、指導の質向上に手応えを感じた**という声も。
- また、生徒も**学ぶ意欲が高まり、学習時間や振り返りをする時間が増えた**というコメントもあった。

先生が感じたStudyplus for Schoolの導入効果

導入したことにより、**生徒の状況把握に要する時間が短縮され、生徒への指導量が増えた**と62%の先生が回答。
また、**学習意欲を維持・向上させた**と61%の先生が回答。

先生向けアンケート

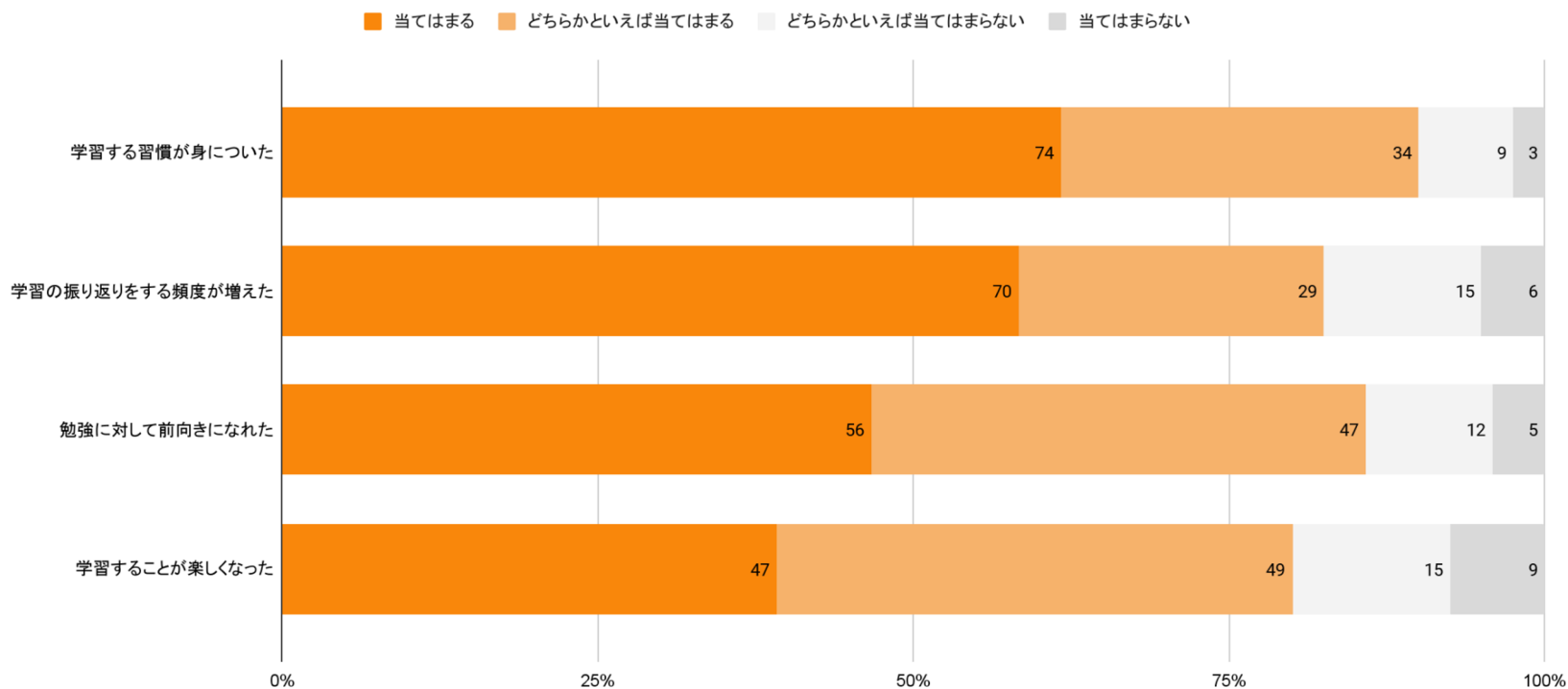


※回答者数 先生18名

生徒の学習意欲や学習習慣について

スタディプラスを活用している生徒にアンケートをしたところ、**87%の生徒が勉強に対して前向きになれた**と回答。学習習慣についても、**90%の生徒が学習する習慣が身についた**という結果となった。

生徒向けアンケート



※回答者数 生徒120名

先生・生徒からこのようなコメントをいただきました

①収集の工数削減

先生

- 生徒の学習状況の把握に要する時間が減り、**生徒へ指導する時間が増えた。**
- おおまかな生活習慣が分かるため、**学習以外での生活リズムについて正確に把握できるようになった。**

②分析の工数削減

先生

- どの教科書、参考書で勉強しているのかを把握できるようになるため、**教科指導も適切に行うことができる。**
- 考査や模試などの試験結果を踏まえ、試験前の学習内容を**振り返らせることができるようになった（努力と結果の相関を把握させやすくなった）。**

先生・生徒からこのようなコメントをいただきました

③指導の効率化

先生

- 「頑張ってるね」など気軽にコメントをすることができた。コミュニケーション量が増えた結果、生徒の学習意欲が高まっていることを実感することができた。

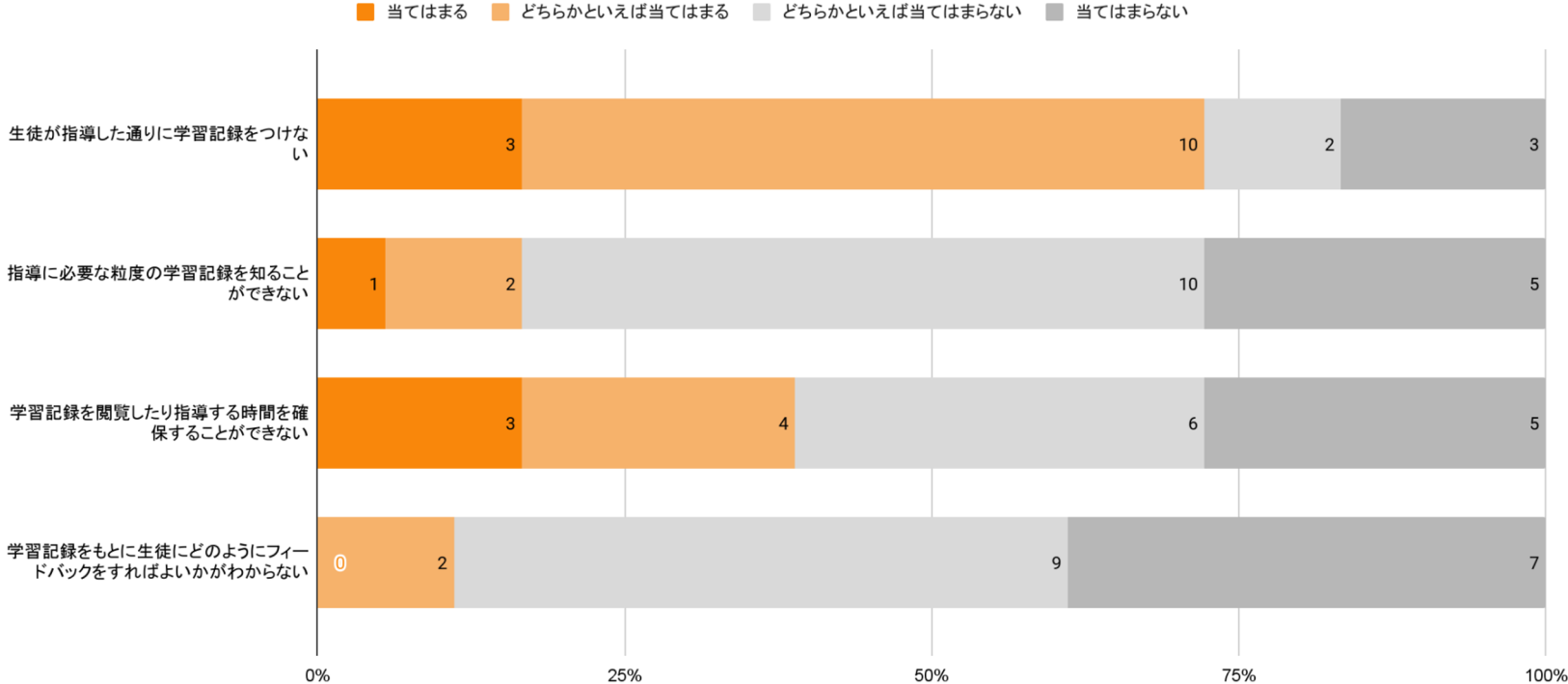
生徒

- 先生からいいねをもらえたり、コメントをもらえたりするとモチベーションが上がった。
- 先生に学習記録を共有することによって改善点などを客観的に知ることができる。

導入・運用における課題

課題として1番多く声が挙がったのが「生徒が指導した通りに学習記録をつけにくいこと」。
次いで「学習記録を閲覧したり指導する時間を確保することができない」が続いた。

活用していく上での課題に対する先生アンケート



※回答者数 先生18名

運用や活用に関して、先生・生徒からこのようなコメントをいただきました

先生の利活用促進

- 記録に対して教員がコメントをすることで、あまり学習意欲が高くない生徒のモチベーションを向上させたいが、
業務時間内にそのような時間をとることが難しい。

生徒の学習記録を手動でつけることの手間

- メリットは多いものの、**入力**が手間になりがち。
- 記録することを**忘れてしまう**。


1月~3月にかけて、学校と協働で次年度導入計画と推進体制の構築。
製品面では教材配信機能の提供を行い、生徒の記録負担削減を目指す。



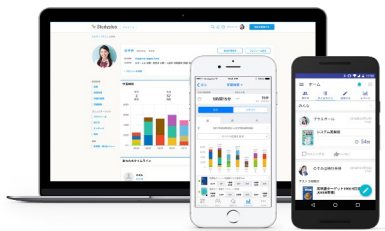
会社概要

スタディプラス株式会社は、「学ぶ喜びをすべての人へ」というミッションを掲げ、新しい教育の仕組みをつくる会社です。会員数700万人以上、大学受験生の2人に1人が利用する学習管理プラットフォーム「Studyplus」、教育事業者向け学習管理プラットフォーム「Studyplus for School」、電子参考書プラットフォーム「Studyplusブック」を運営しています。

01




「学習の継続」を支援する
BtoC向け学習管理アプリ

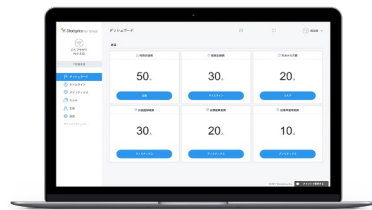


→ [サービスサイトへ](#)

02



塾予備校・学校
BtoB向け学習管理プラットフォーム

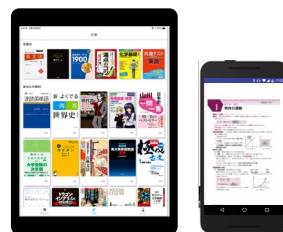


→ [サービスサイトへ](#)

03

Studyplusブック

受験生に人気の参考書を
スマホでも読める電子参考書サービス



→ [サービスサイトへ](#)

会社名	スタディプラス株式会社 / Studyplus.Inc		
住所	東京都千代田区神田駿河台2-5-12 NMF駿河台ビル4階	設立	2010年5月20日
資本金	100,000,000円	従業員	83名（役員含む、アルバイト除く） ※2023年1月1日時点
株主	創業メンバー、エンジェル投資家、株式会社ミクシィ、ジャフコ、フェムトGP、朝日新聞社など	問い合わせ先	https://forms.gle/wTU1yZ9fBC8oPzE99

大学受験生の2人に1人が利用する学習管理アプリ「Studyplus」について



<https://www.youtube.com/watch?v=6MtGiAMB8n0>